

《拓の会ニュース》

Vol.20

■拓の会例会予定（3月）

☆オブザーバー参加のお申し込みは事務局まで。（TEL: 0155-22-3611）

- | | | |
|------------|--|---|
| 第1G | ■日 時:3月18日(金)19:00~21:00
■会 場:とかち館またはZOOMでの参加 | ■テーマ:ネオプロセスの「人が生きる経営」
■話題提供者:(株)ネオプロセス 代表取締役 松田 英明 氏 |
| 第2G | ■日 時:3月18日(金)19:00~21:00
■会 場:とかち館またはZOOMでの参加 | ■テーマ:ネオプロセスの「人が生きる経営」
■話題提供者:(株)ネオプロセス 代表取締役 松田 英明 氏 |
| 第3G | ■日 時:3月18日(金)19:00~21:00
■会 場:とかち館またはZOOMでの参加 | ■テーマ:ネオプロセスの「人が生きる経営」
■話題提供者:(株)ネオプロセス 代表取締役 松田 英明 氏 |
| 第4G | ■日 時:3月18日(金)19:00~21:00
■会 場:とかち館またはZOOMでの参加 | ■テーマ:ネオプロセスの「人が生きる経営」
■話題提供者:(株)ネオプロセス 代表取締役 松田 英明 氏 |

今月の各グループ例会は「拓の会」フォーラム」と位置づけます。

■拓の会例会報告（2月）

<第1グループ>『侃々諤々』グループ 記 録：高岡氏

- 日 時：2月25日(金) 19:00~21:00
- 場 所：同友会会議室とZOOM参加
- 参加者：13名
- テーマ：目標達成する為の時間の使い方
- 話題提供者：FP山崎増美事務所 代表 山崎 増美 氏

【感想・報告】

今回は、FP山崎増美事務所 代表 山崎 増美 氏に【目標達成する為の時間の使い方】について話題提供いただきました。

始めは山崎さんが起業するまでの歩みだったり仕事面での葛藤だったり話をいただきました。ご自身が掲げている経営理念『金融を通して顧客の皆様の経済的・精神的パフォーマンスを最大化し、一生楽しく・安心して暮らしてもらう』を大切にマニュアル通りにせず、クライアントが必要としている情報・提案を行うことによってクライアントから『ありがとう』と感謝を言われることは人柄を伺うと納得できます。業務内容の具体例を出していただいて、興味のある方から質疑が数多く出ていて、聞いている私まで現状を考えていました。

後半はそれぞれ行っている時間の活用法について意見交換があり、自分の行動をルーティン化してそれを意識しながら行ったり、スタッフの意識を高めるために自己評価を定期的に行う。定期的な会議を行ってPDCAの分析を行い次回から生かすためのディスカッションを行う。自分の時間を確保するために仕事の時間を明確にされる方など、様々な方の時・業務の活用法が聞けて大変参考になり自分にも落とし込めるところは行ってみたいと感じました。時間確保のために苦手な業務などは外注に依頼し時間を確保することで業務の効率化を円滑にされている方もおられそれの一つの手段と思いました。資産運用に関しては、基本的な考え方をシミュレーションしながら説明して頂きイメージがつきやすかったです。今回は時間の使い方の話題提供でしたが、それだけではなくお金の使い方にも考える機会となりました。

<第2グループ> 『多様な労働環境・働き方を知り、考え、学びあう』グループ 記 録：井上氏

- 日 時：2月24日(木) 19:00~21:00
- 場 所：同友会会議室とZOOM参加
- 参加者：6名
- テーマ：職場環境を労働安全衛生法からの観点で考える
- 話題提供者：(有)労災防止センター 取締役社長 佐々木 賢一 氏

【感想・報告】

今回は急遽予定が変更となり労災防止センターの佐々木さんより、労働安全衛生法という観点から見る職場環境・働き方についてお話し頂きました。普段の仕事の中で安全・衛生に関わる取り組みをなかなかしていない企業が多いが、実際に事故が起きた際の過失割合に影響するので、万が一に備えて準備しておく必要があると学ばさせて頂きました。

安全衛生法とはと言っても、安全と衛生とは別々に考え対応しなければいけない事、衛生に関しては労働者が職業性疾病にかかった際は、ほぼ100%事業者側に過失がある事等、色々な事例を用いて説明して頂きました。安全な仕事をするには、労働者へ仕事のやり方を教えるなければいけないという事から、どのように説明をすれば相手に理解してもらえるのか、上手く仕事ができるコツを教えて頂き、みんなの職場で役立つ内容の例会となりました。

<第3グループ> 『とかちの魅力を考える会』グループ 記 録：津田氏

- 日 時：2月24日(木) 19:00~20:00
- 場 所：WONDER WALL
- 参加者：4名
- テーマ：帯広初・ボルダリングジムを通じたコミュニティスペース作りについて
- 話題提供者：合同会社 WONDER WALL 岡田 知己 氏

【感想・報告】

2021年10月に同友会事務所の隣にオープンしたボルダリングジムへ訪問、体験させて頂きました。知り合いの方との共同経営で運営されているとの事ですが、代表の岡田様に話を聞くことができました。普段はWEBデザイナーとしてHP等の制作なども行っているとの事です。

ジムはコロナなどもあり集客にはまだまだ苦戦しているとの事でしたが、地域の方々が楽しめるスペースにしていきたいという気持ちがかきつけられているのだという事がお話から伝わってきました。当日も平日の夜にも関わらずお子様連れや特に若い世代の方々を中心に通われており、実際に体験もさせて貰いましたが汗を流してストレス発散にも良く楽しいスポーツだと思いました。インストラクターの方も常駐しているのでやり方も教えて貰えます。今後はイベントなども積極的に催していきたいとの事でコミュニティへのアプローチなど参考にさせて頂きたいと思っています。



<第4グループ> 『経営者の財務』グループ 記 録：牧野氏

- 日 時：2月16日(水) 19:00~21:00
- 場 所：清水町文化センター
- 参加者：15名
- テーマ：『財務の初歩』～金融機関から見た良い会社と悪い会社の見分け方～
- 話題提供者：株式会社 エントライズ・マネジメント 代表取締役 野村 幸司 氏

【感想・報告】

『財務の初歩』～金融機関から見た良い会社と悪い会社の見分け方～というテーマで清水地区会との合同例会を行いました。まず初めに野村講師から、会社の業務で経営者にしか出来ない事＝【決定をする事】、その為に様々な知識を習得しておく事が重要だと、短い言葉でかつ印象的な言葉で例会が始まりました。金融機関が融資相談を受けてから、信用格付け・スコアリング方法など、どの様な流れで判断するかを伺い、普段聞けない金融機関側の話が聞け、我々経営者と逆の立場ならどの様に見えるかと、客観的な目線を養う事が出来る機会になりました。

ワークを使い決算書や事前情報から融資を行うかグループ討論で話し合い、より学びが深まりました。最後に野村講師から【金融機関ともコミュニケーションを取る事】【財務的に良い会社を育てるには利益を出す事】【強い会社とはキャッシュをたくさん持っている事】以上3点を注視して強い会社作りに役立てて欲しいとご教授頂きました。

